**令和元年度　第22回国頭地区中学校夏季総合体育大会空手道競技大会要項**

１　主催　　　　　国頭地区中学校体育連盟

２　共催　　　　　沖縄県教育委員会

３　日時　　　　　令和元年　６月２日（日）　集合8：30（マット設営開始）

監督会9：00　審判会議9：30　開会式10：00

４　会場　　　　　大宮中学校　　体育館

５　企画・運営　　国頭地区中体連空手道専門部

６　競技種目　　　男子個人組手・形　　　女子個人組手・形

男子団体組手・形　　　女子団体組手・形

７　参加人数　　　男女とも参加人数の制限はない。

選手の引率，監督は当該校の教職員とする。

８　参加申込　　　申込用紙に必要事項を記入の上、**夏季総体申込〆切**（５月８日水曜日）までに本部中学校の高良重雄先生宛に提出する。ＦＡＸ不可。

９　競技規則　　　平成３１年度（公財）全日本空手道連盟規則並びに国頭地区中体連空手道専門部の申し合わせ事項に準ずる。

10　競技方法　　（１）形競技（個人戦・団体戦）

①フラッグ方式とする。

　　　　　　　　　 ②１回戦は（公財）全日本空手道連盟第一指定形及び，「鉄騎初段　～３段」「三戦」「撃砕Ⅰ・Ⅱ」「平安初段～五段」の中から選ぶ。

　　　　　　　　　 ③２回戦は（公財）全日本空手道連盟第二指定形とする。

　　　　　　　　　 ④次戦から決勝までは（公財）全日本空手道連盟競技規則にある得意形リストから選ぶ。**なお１、2回戦で使用した型は使用不可とする。**

　　　　　　　　　 ⑤個人戦は準決勝から１人ずつ演武を行う。

　　　　　　　　 ⑥２回戦が準決勝になった場合は第二指定形を行い、決勝のみ得意形とする。

　　　　　　　　　 ⑦参加数が少数の場合、得点制（旧ルール）で行う。また決勝のみとし、得意形リストから選ぶ。さらに同得点の場合は両者とも再演武を行う。さらに同得点の場合も同様とする。（再演武は別の形を行うものとする）

　　　　　　　　（２）組手競技

①１分３０秒フルタイムとし、**６ポイント差**で勝負を決する。時間内に勝敗のつかない場合は旗判定とする。

 ②競技者はニューメンホー（Ⅴ・Ⅵ）、プロテクター，セーフティ　　　　　　　　　　　カップ（男のみ）、拳サポーター（全空連認定の青・赤）、**シンガード、インステップガード**の安全具を着用する。

　　　　　　　　　　 ③団体組手は規定の３人に満たない場合でも過半数（２人）の選手で成立する。ただし、競技時には選手は前につめるものとする。

　　　　　　　　　　 ④団体組手の参加数が３チームの場合はリーグ戦とし、順位を決定する。

* **申込人数が少ない場合、競技方法を見直す**

11　組み合わせ　　　　個人組手は新人大会の結果で上位４位までの選手をシードする。その他は

**５月１５日（水）の監督会で抽選**する。

12　参加料　　　　　　一人につき５００円（５月１５日の監督会で徴収）

13　表彰　　　　　　　競技別に団体、個人とも優勝・準優勝・３位を表彰する。

　　　　　　　　　　各競技の上位校（選手）に得点を与え、総合優勝校を決定し、

優勝旗を与える

14　県大会参加　　　　県大会の出場は以下の通り

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **種目** | **性別** | **出場数（団体・個人）** |
| **団体** | **形・組手** | **男子** | **４** |
| **女子** | **４** |
| **個人** | **形・組手** | **男子** | **８** |
| **女子** | **８** |

15　その他　（1）選手は必ず学校名を空手着の左胸に縫いつけること。

　　　　　　（2）各学校の引率教員に大会役員（補助員）を割り当てる。

　　　　　　（3）引率者の服装は**白のワイシャツかブラウス・ポロシャツ**で統一とする。

第22回国頭地区中学校夏季総合体育大会空手道競技「細則」

**１ 選手の服装など**

（１）空手着は白無地一色とし、落書きやふちどりのあるものは禁止とする。

（２）学校名が左胸にあること。（文字は黒色の縦書きで20 ㎝×8 ㎝程度、安全ピンで留めてある場合は棄権とする）

（３）上着の袖の長さは、最長手首までとし、肘から手首の間の中ほどより短くてはならない。

（４）ズボンの長さは、脛を覆うほどの長さとし、踝が隠れてはならない。

（５）競技者は手足の爪を短くし、相手に傷を与えるような物を身につけてはならない。

（６）女子選手の髪留めのゴムバンドは黒か茶のみとする。その他の装飾品は認めない。

（７）女子の肌着は白無地のＴシャツとする。（ワンポイント、校名は認める）

（８）競技者の服装が正しくなかった場合、服装を正すために１分間が与えられる。（正せない場合は失格）

（９）空手着のヒモは結ぶこと。ヒモなしの空手着は不可とする。

（10）帯の長さは、大腿部の３／４を超えない程度とする。また、帯留めは使用してはならない。

**２ 形競技**

（１）「（公財）全日本空手道連盟指定形」とは以下の形である。

【第１指定形】　　　　　　　　　　　　　　　 【第２指定形】

・糸東流（セイエンチン、バッサイダイ）　　 ・糸東流（マツムラローハイ、ニーパイポ）

・剛柔流（サイファ 、セーパイ ） 　　　　　・剛柔流（セイサン、クルルンファ ）

・松濤館流（カンクウダイ、ジオン ）　　　 ・松濤館流（エンピ、カンクウショウ ）

・和道流（セイシャン、チントウ ） ・和道流（クーシャンクー、ニーセイシー）

（２）団体形の演武において発声が認められるのは「形の呼名」と「演武中の気合い」のみとする。

（３）各ラウンドで使用できる形の種類は次の通りとする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ラウンド | 使用できる形 | 演武形式 |
| １回戦 | 第１指定形、鉄騎（ﾅｲﾊﾝﾁ）初段～3段、三戦、撃砕Ⅰ･Ⅱ平安（ﾋﾟﾝｱﾝ）初段～5段 | 同時 |
| 2回戦 | 第2指定形 |
| 準決勝・決勝 | 得意形 | 個別（形申告あり） |

　**※２回戦が準決勝となった場合は準決勝を第2指定形、決勝を得意形とする。**

（４）演武開始の礼と終了の礼をしなかった場合、反則となり得る。

**３ 組手競技**

（１）得点となる攻撃部位は下記の通り。

「頭部」、「顔面」、「頚部」、「腹部」、「胸部」、「背部」「わき腹」である。

（２）得点の種類は下記の通り。

「１本」＝３ポイント、「技あり」＝２ポイント、「有効」＝１ポイント

（３）下記を基準に得点部位への技に対し点が与えられる。

「良い姿勢」、「スポーツマンらしい態度」、「気力」、「残心」、「適切なタイミング」、

「正確な距離」

（４）禁止行為は下記の２つに分類される

①カテゴリー１（Ｃ１と表記）

・攻撃部位への過度の接触技

・腕、又は脚部への攻撃、股間部、関節、又は足の甲への攻撃

・貫手又は開手による顔面への攻撃（手刀、背刀は除く）

・負傷の原因となる危険な、又は禁止されている投げ技、ウエストから下を持つこと

・倒した、あるいは倒れた相手に対しての蹴りが当たった場合。

②カテゴリー２（Ｃ２と表記）

・「誇張」、「場外」、「無防備」、「逃避行為」、「不活動」、「不必要な組み合い」、

「コントロールされていない危険な攻撃」「頭部、膝、肘での攻撃をしようとした場合」、

「不作法など」

・倒した、あるいは倒れた相手に対しての蹴りが空振りした場合。

**４ 競技別得点（男女共通）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 順位 | １位 | ２位 | ３位 |
| 団体戦 | **15** | **10** | **7** |
| 個人戦 | **10** | **7** | **5** |

**※同点の場合はベスト8に入った選手の人数が多い方とする。**